# 昭和四十年二月議会 四十年度提出議案 市長説明要旨

## 市政の伸張を画す

## 産業・都市基盤を積極的に整備

### 新潟地震など災害相次ぐ 復旧は万全

昭和三十九年度は、郷土の栄辱をかけた新潟国体が開催され、数々の成果が挙げられたのであり、また、新潟高校野球部の優勝に、一瞬にして失官有の大被害を受けましたが、幸いして、当市の被害は、近隣市町村に比較して、少ないようであります。

新潟国体には、開催地の栄辱にかけた県民の熱意と健闘により、他の府県ではついぞ成し得なかった、天皇、皇后両杯を獲得することができ、また、市民各位の絶大なる協力によって成功裡に終了することができたのであります。

しかも、地元、新津高校の歴代野球における優勝は感激に堪えないところであります。

しかし、このようなびの感激のなおさめやらぬ六月十六日、不幸にも、新潟地震の発生により、一瞬にして失官有の大被害を受けましたが、幸いして、当市の被害は、近隣市町村に比較して、少ないようであります。

国政では、三月、百四億円、民生、農林、水道、その他の施設において、多くの被害が発生し、その災害復旧費の総額は一億二千二百三十九万余円に及びその内、公共施設に努めました結果、農林施設の復旧は、ほぼ完了し、ガス事業の復旧は、ガス漏洩の船出も、ほぼ完了するに至りました。

その後十二月に至り、市之瀬小学校、第四中学校の不庭の火災あい、校舎を焼失するに至り、その他、一部屋に火災発生の校舎等の復旧は万全の措置を講じましたことは、出火原因の如何にかかわらず、誠に遺憾の極みであります。

昭和三十九年度は、郷土の栄辱をかけた新潟国体が開催され、数々の成果が挙げられたのであり、また、新潟高校野球部の優勝に、一瞬にして失官有の大被害を受けましたが、幸いして、当市の被害は、近隣市町村に比較して、少ないようであります。

新潟国体には、開催地の栄辱にかけた県民の熱意と健闘により、他の府県ではついぞ成し得なかった、天皇、皇后両杯を獲得することができ、また、市民各位の絶大なる協力によって成功裡に終了することができたのであります。

しかも、地元、新津高校の歴代野球における優勝は感激に堪えないところであります。

### 宅地造成など加速発展を

それには、この際、市政を自然発生的に発展への誘導を行なうことが、最も必要欠くべからざる要素である。疎信されず、すでに、市内、川地区に長期興業株式会社の工場設置、会沢団体の開発事業、実施第一年度を迎え、ゴルフ場も来月より営業を開始いたします等この現実況は明日の躍進への船出を考えられますので、現時点が、最も重要時期と思考されます。

さて、昭和四十年度は、まさに発展への加速度を加えるために都市造りの推進の年であります。

かえりみまするに、昭和三十六年六月市長就任以来、市民各位のご期待に副うべく、市政の各面に対し、積極的に施策を推進してまいりましたところであります。

第一は、再建計画は引き続き実行し、昭和三十九年度の災害に伴る一般財源支出額一千万円を差し引いた二千六百万円の額は六億五百七十六万七千円にもおよび、その財源内訳は、国、県補助金百四百八十万五千円、一般財源は、二億九千九百十五万五千円となります。

第二は、市の将来を担うべき人造りの基礎をなす教育の振興と、その充実に対し、特に留意し学校施設の整備、理科センターの新設等を行なうこととしております。

第三は、産業基盤の整備であります。農業における低所得者の解消、その他、農民負担の軽減、農業用水路の改修、新たに広域商業診断を実施し、発展に努めます。

第四は、都市基盤の整備のため、建設事業の強化を図ることであります。

第五は、福祉行政の充実、社会福祉の向上、福祉協議会と協力し、身体障害者等の福祉事業の向上を図るため、関係団体の活動を活発化する方策を推進し、近く設立精神障害者等の福祉事業の委託金四百十七万七千円、財産取入で三千八百二十九万九千円が主なものであります。

財産取入で三千八百二十九万九千円が主なものであります。

### 赤字は確実に解消

昭和四十年度当初予算編成に、特に重点として指向すべきものを述べましたものは次のものであります。

第一は、再建計画は引き続き実行し、昭和三十九年度の災害に伴る一般財源支出額一千万円を差し引いた二千六百万円の赤字解消を行なうことと、健全財政を堅持しながら市民の福祉増進のため、固のご期待に副意に夫をこしてまいる心算であります。

第二は、市の将来を担うべき人造りの基礎をなす教育の振興と、その充実に対し、特に留意し学校施設の整備、理科センターの新設等を行なうこととしております。

第三は、産業基盤の整備であります。農業における低所得者の解消、その他、農民負担の軽減、農業用水路の改修、新たに広域商業診断を実施し、発展に努めます。

第四は、都市基盤の整備のため、建設事業の強化を図ることであります。

第五は、福祉行政の充実、社会福祉の向上、福祉協議会と協力し、身体障害者等の福祉事業の向上を図るため、関係団体の活動を活発化する方策を推進し、近く設立精神障害者等の福祉事業の委託金四百十七万七千円、財産取入で三千八百二十九万九千円が主なものであります。

財産取入で三千八百二十九万九千円の増額でありますが、この内訳は、

と市場売却分　二千四百三十万円

小合西、南小学校の統合による旧校舎及びその敷地売却分一千七百十六万六千円

の売却収入の四百万円は、農林金の四百万円は、農業近代化資金及び国民年金印紙購買基金の分であり、

### 市民税減税補填債は全額国で措置

市税では、ご承知のとおり市民税の賦課方式が、従来の方式に統一され、税法上その側課税率は一・五と定められておりますが、市民の税負担の軽減を図るため、これを一・四と定めました。

また、農地等地震災害に伴なうものについては、その内容の一部を交付税で全額措置されるものであります。

以上ざっと財源を大別いたしますと、

一、一般財源の総額は五億五千六百八千円

国、県交付金、地方分担金、その他の特定財源の総額は三億九千二百七十三万二千円

で前年度比減では

四千円

となります。

一般財源の総額は五億五千六百八千円

特定財源で二億二千三百十九万六千円

となりますが、

一、国、県交付金、及び市債の合計二億八千八百六十二万二千円は外資導入といいうべきものであります。

労働費中、一般失業対策事業費は、市が行なうべき道路舗装工事を取り上げ、これが全額獲得のために折衝し、原材料費を計上しました。

農林水産費では、防除薬剤費を前年度額より五百万円増、ガス事業費を前年度額より五百万円増、農業近代化推進事業費補助百万円、蚕業推進事業費補助百万円、蚕業育成資済に対する貸付金六百三十四万円、市産業資金貸付金六百万円、東康地の買収後において、東康地の造成のために、これを実施する経費、四ノ町十字路に設置する交通信号機の容所費二十六万円、農業用水路改修費補助百万円、農業近代化推進事業費補助百万円、蚕業推進事業推進に伴なう計画変更による増額分百五十万円、農業近代化推進事業費補助百万円、蚕業推進事業推進に伴なう計画変更による増額分百五十万円、農業育成資済に対する貸付金六百三十四万円、市産業資金貸付金六百万円、東康地の造成のために、これを実施する経費、四ノ町十字路に設置する交通信号機の容所費二十六万円、農業用水路改修費補助百